

# 京都議定書 6%削減目標の達成に向けて

ライフスタイルを見直し、  
1人1日で1kgを目指して  
CO<sub>2</sub>ダイエット

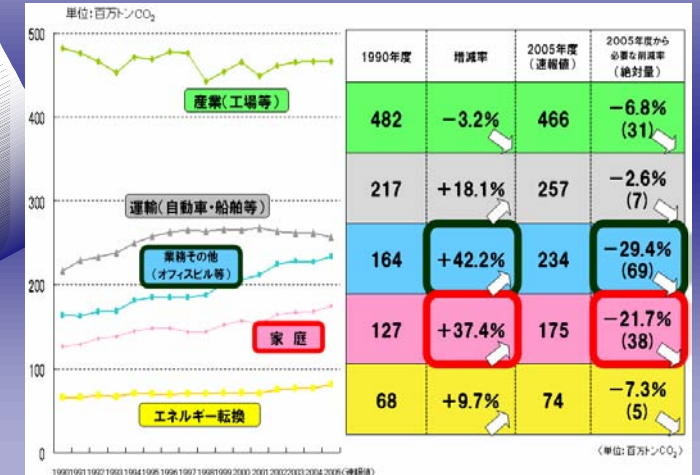
積み重ねて

1kg × 1億2,800万人  
× 365日  
= 約4700万t/年

家庭部門の  
削減目標  
約3,800万t/年

家庭や職場、地域での具体的な温暖化防止のアイデアを  
公募し、効果が検証されれば、積極的に国民へ紹介。

二酸化炭素の部門別排出量の推移



## CO<sub>2</sub>削減のために一人ひとりができること

我が国のCO<sub>2</sub>排出量は、家庭部門で37.4%の増(1990年比) [2005年度排出量:1億7500万トン]となっており、2010年までの削減目標量は、3,800万トン。これを実現するためには、一人ひとりが日常のライフスタイルを見直し、家庭や職場でできる温室効果ガス削減の取組の輪を広げていく必要があります。例えば、下記の取り組みを全て実践すると、年間で1世帯当たり約569kg(1人1日では610g)の削減が可能です。政府は国民運動の展開に全力をあげていきます。「チーム・マイナス6%」に国民の皆様力を貸して下さい。

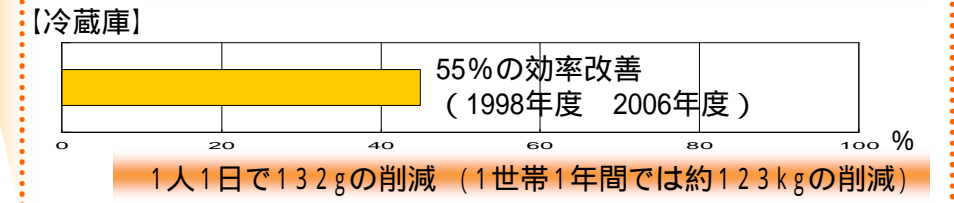
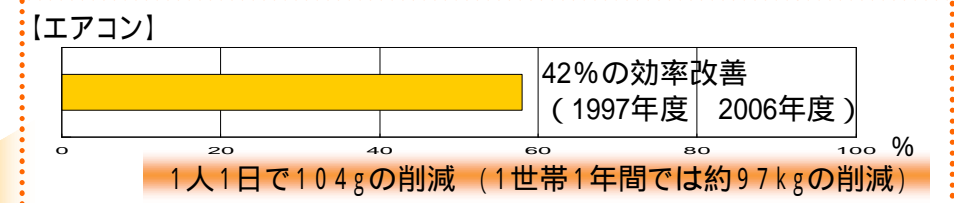
### (1人1日での削減量)

1kg  
サッカーボール  
約100個分!  
(体積)

- 35g** 【温度調節で減らそう】 冷房28、暖房20 にしよう  
例えば、冷房の温度を1高く、暖房の温度を1低く設定すると  
1人1日で35gの削減 (1世帯1年間では約33kgの削減)
- 74g** 【水道の使い方減らそう】 蛇口はこまめにしめよう  
例えば、シャワーを1日1分減らすと  
1人1日で74gの削減 (1世帯1年間では約69kgの削減)
- 104g** 【商品の選び方で減らそう】 エコ製品を選んで買おう  
例えば、身近な家電製品(エアコン、冷蔵庫、照明)をエコ製品に買い替えると  
1人1日で104gの削減 (1世帯1年間では約97kgの削減)
- 132g** 【自動車の使い方減らそう】 エコドライブをしよう  
例えば、1日5分間のアイドリングストップを行うと  
1人1日で132gの削減 (1世帯1年間では約123kgの削減)
- 45g** 【買い物とゴミで減らそう】 過剰包装を断ろう ゴミをしっかりと分別しよう  
例えば、マイバッグを持ち歩き、省包装の野菜などを選ぶと  
1人1日で45gの削減 (1世帯1年間では約42kgの削減)
- 62g** 1人1日で62gの削減 (1世帯1年間では約58kgの削減)  
例えば、ゴミの分別を徹底し、廃プラスチックをリサイクルして焼却量を減らすと  
1人1日で52gの削減 (1世帯1年間では約48kgの削減)
- 52g** 【電気の使い方減らそう】 コンセントからこまめに抜こう  
例えば、テレビなどの主電源を切り、長時間使わないときはコンセントから抜くと  
1人1日で64gの削減 (1世帯1年間では約60kgの削減)
- 64g**

公募したアイデアなどにより更に削減を目指します

【オフィスで】(1) エアコンの設定温度をクールビズ開始(2005年度)前より上げている割合 43.2%  
(2) CO<sub>2</sub>削減量の推計  
日本全体で約114万トンのCO<sub>2</sub>削減(6~9月)



【照明】  
最も買い替えやすいものとして、照明のうち、「白熱電球」を「電球形蛍光灯」に交換  
1人1日で45gの削減 (1世帯1年間では約42kgの削減)



【日本国民全員が週に1枚レジ袋を断った場合】  
日本全体で約36万トン/年のCO<sub>2</sub>削減

<CO<sub>2</sub>削減量> 「身近な地球温暖化対策～家庭でできる10の取り組み～」(環境省)他より

温室効果ガス削減のための国民運動の展開は、上記のような家庭部門での取組だけでなく、業務部門(オフィスビル等)でもしっかりと進めていく必要があります。